



DSM 株式会社

2018 年 5 月 2 日

DSM、2018 年第 1 四半期暫定決算を発表し、見通しを上方修正

【第 1 四半期暫定決算】

- 基本事業において 11%と好調なオーガニック・セールス・グロース^注の継続を予想
- 為替に大きな逆風があるものの、基本事業における調整後 EBITDA の成長率は 7%と予測
- 一時的なビタミン価格の上昇により調整後 EBITDA に 1 億 6500 万ユーロの追加的な利益を予想
- 調整後 EBITDA 合計が 55%増と、全体として非常に好調な四半期

注： 買収・売却や為替レートの影響を除いた売上高成長率

DSM 社 CEO 兼取締役会長 Feike Sijbesma (フェイク・シーベスマ)のコメント；

当社の事業業績が好調さを維持し、市場を大きく上回る成長を見せていることを非常に喜ばしく思っています。また、業界内で生じた異例の供給の乱れに起因して、現在複数のビタミン製品で価格が大きく高騰しており、これによる利益も得ています。これは一時的なものであり、大半は上半期に集中するものと見られています。これら 2 点が合わさり、2018 年通期の見通しが大きく上方修正される要因となりました。

本リリースに関するお問合せ先

DSM (株) 広報事務局 (アズ・ワールドコム ジャパン株式会社内) 担当：水谷、中里
TEL：03-5575-3221 / e-mail：atsutake@w-az.co.jp (水谷)、kaoru@w-az.co.jp (中里)

DSM 株式会社 担当：龍、大木
Tel: 03-5404-8336 / e-mail: Shintaro.Ryu@dsm.com (龍) Nahoko.ohki@dsm.com (大木)

<参考資料>

【主要暫定数値および指標¹】

	2018年 第1四半期			2017年	増減 (%)				
				第1四半期					
単位：100万ユーロ	基本事業 ²	一時的な ビタミンの影 響 ²	グループ 合計	報告値	実質 オーガニック グロース ²	FX ²	実質 成長率 合計 ²	一時的な ビタミンの 影響 ²	グループ合 計
売上高	2,215	220	2,435	2,159	11%	-8%	3%	10%	13%
ニュートリション部門	1,430	220	1,650	1,398	12%	-10%	2%	16%	18%
マテリアル部門	735		735	701	11%	-6%	5%		5%
調整後EBITDA	370	165	535	345			7%	48%	55%
ニュートリション部門	275	165	440	257			7%	64%	71%
マテリアル部門	125		125	113			11%		11%
イノベーション部門	-1		-1	1					
コーポレート部門	-29		-29	-26					

¹ 調整後 EBITDA は、代替的業績指標（APM）であり、継続的業務を反映しています。

² 本プレスリリースにおいて基本事業は、売上高および調整後 EBITDA を測定する業績として定義され、DSM が可能な限り正確に見積もった、一時的なものと予想されるビタミンによる影響を織り込んで修正されています。

【2018 年度の展望】

DSM は、2018 年通期の見通しを上方修正し、現在は調整後 EBITDA の成長率について 25%に向けた伸びを予想しており、また関連する ROCE の成長率についても上昇を予想しています。これは、以下の点を根拠としています。

- 基本事業において、調整後 EBITDA は、為替変動を考慮しない場合、2 桁台前半の成長率
- 外国為替による調整後 EBITDA への 8000 万ユーロのマイナス影響
- 異例なビタミン価格設定が行われる環境下にあること（一時的なものであり、大半は上半期に集中するものと見られる）に起因して、調整後 EBITDA に 2 億 5000 万～3 億ユーロの追加的な利益を予想

【第 1 四半期の DSM 全体】

DSM は、基本事業によるオーガニック・セールス・グロースが 11%と、第 1 四半期決算報告が非常に好調なものとなると考えています。基本事業における、外貨によるマイナス影響を含めた売上高の合計成長率は 3%、調整後 EBITDA の合計成長率は 7%と予測しています。

さらに、異例なビタミン価格設定が行われる環境下にあることから、第 1 四半期には 1 億 6500 万ユーロの追加利益が調整後 EBITDA に寄与すると想定されます。

第 1 四半期のニュートリション部門

ニュートリション部門基本事業のオーガニック・セールス・グロースは 12%と予測され、これは、市場を大きく上回る 7%の販売数量増によるものです。四半期中の 5%の価格上昇により、外貨によるマイナス影響および投入コスト増が一部相殺されました。

基本事業における、外国為替によるマイナス影響を含めた調整後 EBITDA は 7%増、調整後 EBITDA 率は約 19%となるものと予測しています。

さらに、業界内に生じた異例の供給の乱れに起因する、一時的なものと予想される異例のビタミン価格環境により、第 1 四半期には 1 億 6500 万ユーロの追加利益が調整後 EBITDA に寄与すると想定されます。

第 1 四半期のマテリアル部門

マテリアル部門のオーガニック・セールス・グロースは、投入コスト増の相殺を目的とした価格引上げの実施により約 7%の販売数量増および約 4%の価格上昇が生じることにより、11%となることが予測されます。外国為替によるマイナス影響を含めた調整後 EBITDA は、11%増、調整後 EBITDA 率は約 17%となるものと予測しています。

DSM – Bright Science. Brighter Living.™

DSM 社は、科学をベースとして健康、栄養、材料分野で活躍しているグローバル企業です。ライフサイエンスとマテリアルサイエンスにおける独自の技術を組み合わせることで、経済的繁栄、環境問題への取り組み、そして社会の発展を促進し、DSM と関わる全ての人々にとって持続可能な価値を創造します。また、DSM は食品や栄養補助食品、パーソナルケア、飼料、医療機器、自動車、塗料、電気・電子機器、ライフプロテクション、代替エネルギー、バイオベース素材などのグローバル市場において、顧客企業の業績向上・維持に貢献できる革新的なソリューションを提供します。年間の純売上高はおよそ 100 億ユーロ、社員数は 25,000 名で、Euronext Amsterdam に上場しています。

詳細については www.dsm.com をご覧ください。

* 本リリースは 2018 年 4月 12 日に DSM 社から発表されたプレスリリースを抄訳したものです。

将来予測に基づく記述

本プレスリリースには、将来予測に基づく記述が含まれています。これらの記述は DSM 経営陣による現時点での期待、推定、予測、および現時点で当社が入手可能な情報に基づいています。これらの記述には、予測が困難な特定のリスクと不確実性が含まれることから、DSM はその予測の実現については保証しません。また、DSM は本プレスリリースに含まれる記述を更新する義務を負いません。